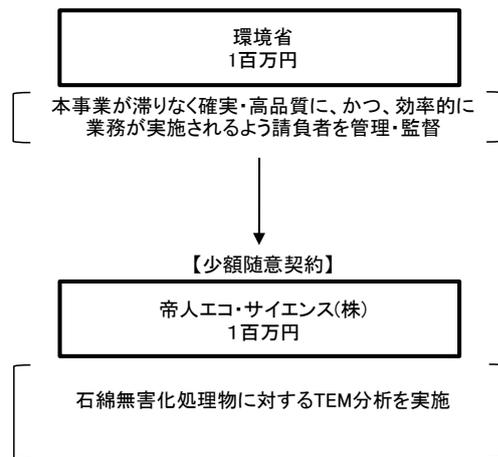


行政事業レビューシート (環境省)						
予算事業名	産業廃棄物処理事案対策立入調査指導費	事業開始年度	平成17年度	作成責任者		
担当部局庁	廃棄物・リサイクル対策部	担当課室	産業廃棄物課	産業廃棄物課長 坂川 勉		
会計区分	一般会計	上位政策	廃棄物・リサイクル対策の推進			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)第18条(報告徴収)、第19条(立入検査)、第19条の3(改善命令)、第19条の5、第19条の6(措置命令)、第19条の8(生活環境の保全上の支障の除去等の措置)	関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	環境監視活動や現場での即応体制の強化を図る。また、広域認定、再生利用認定、無害化処理認定に係る事業者への立入検査等による指導により、効率的な廃棄物処理が確保されることを目指す。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①産業廃棄物の不適正処理・不法投棄事案等において、環境大臣の指示を行うにあたって必要となる環境保全上の支障等に関して現場調査を行う。 ②広域認定、再生利用認定、無害化処理認定に係る事業者を対象として、処理施設が認定基準に適合しているか否かを実地にて調査・確認する。 ③上記の調査において、現場等で収去した廃棄物、採取した試料の分析(ダイオキシン、特定有害廃棄物、PCB等)を行う。					
実施状況	石綿無害化処理施設(1件)について、透過型電子顕微鏡(TEM)を用いた石綿の検定を行い、廃棄物処理法に規定する認定基準に適合していることを確認した。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	5	5	5	5	
	執行額	0	0	1		
	執行率	0%	0%	18%		
	総事業費(執行ベース)					
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	年度末に事業者から提出される事業実施報告書により、書類審査を行うとともに、必要に応じて打合せを行うなど、適宜連絡を取っており、その都度進捗状況の確認を行っている。また、事業実施にあたり課題が生じた場合はその都度、協議を行い、必要な助言及び指導を行っており、事業実施状況の把握に努めている。				
	見直しの余地	必要に応じて一般競争入札を実施し、予算の効率的な執行に努める。 環境大臣の認定制度の普及に伴い、認定審査件数が増加してきている現状から、引き続き、環境監視活動や現場での即応体制の強化を図るとともに、広域認定、再生利用認定、無害化処理認定に係る事業者への立入検査等による指導を充実化できるよう、重点的・効果的な予算の執行・業務の実施を図る。				
予算・監視の・所見率						
補記	○予算繰越(当該年度の前年度からの繰越額) 単位:百万円					
	平成19年度	平成20年度	平成21年度			
	0	0	0			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A. 帝人エコ・サイエンス(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	石綿無害化処理物に対するTEM分析	1			
計		1	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0